

# 藝文いちかわ

市川市芸術文化団体協議会は、市内における各種芸術文化団体相互の協力と理解を深めるとともに、市川市の芸術文化の振興に寄与することを目的とする。

## ご挨拶

市川市芸術文化団体協議会名誉会長  
市川市長 大久保博



このたびは、「藝文いちかわ」が発行されますことを心からお慶び申し上げます。能村会長をはじめ市川市芸術文化団体協議会の会員の皆様におかれましては、昭和49年の設立以来、長きにわたり、市川市の芸術文化の振興に多大なるご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

市川市芸術文化団体協議会の皆様には、各種芸術文化団体間の相互協力、相互理解の促進に努めていただいておりますとともに、市民が身近に芸術や文化に親しむことにより心にゆとりや豊かさを得られるよう、様々な創作活動に取り組み、本市の文化芸術の中心的な役割を担っていただいておりますことに心から敬意を表します。

また、協議会の課題のひとつでもありました新たな団体の加入については、積極的な呼びかけにより、多数の加盟があったと伺っております。これも一重に皆様のご努力の賜物と存じます。文化には、美術、音楽、文学、舞台芸術など、人に安らぎをもたらす人生を豊かにする力だけでなく、地域への誇りや愛着を深める大きな力があります。今日まで引き継がれてきた伝統ある文

化は、それぞれの時代に暮らす人々の価値観やライフスタイルに大きな影響を受け、悠久の歴史の中、少しずつ育まれてきました。

現在、本市では地域特性を活かした魅力ある街づくりを進めておりますが、そこにはやはり、文化の振興は欠かせないものであると思います。質の高い魅力溢れる街を目指し、人と人、地域と地域を心でつなぐ文化の力を大いに取り入れてまいりたいと思います。

結びに、市川市芸術文化団体協議会の皆様には、引き続き、本市の芸術文化の普及と発展にお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、協議会の更なるご発展を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

## 不易流行

市川市芸術文化団体協議会  
会長 能村研三



「不易流行」という言葉があります。松尾芭蕉が『奥の細道』の旅の間に体得した概念で、俳諧に対して説かれたものですが、私たちの文化活動にもそのまま当てはめることができます。

揺るがない本質的な心理を忘れないこととの「不易」と、その上で新しく変化を

かさねているもの「流行」を取り入れることの大切さを教えています。

私たち芸文協も、これまで村上正治先生が熱意をもって立ち上げられた精神を受け継ぎながらも、昨年からこれまでの活動を繰り返すのではなく、芸文協としての新しい可能性に向けて出発しました。その一つが文化集会で、2月に市川駅南口アイリンクタウン45階の展望施設で「天空の文化祭」を開催しました。5日間に渡って、各団体がコンサートやイベント、展示を行い、1日に一般来場者も含めて1000名を超える日もありました。初めての試みだったので、試行錯誤の連続でしたが、反省点を検証し次回開催に向けて準備が始まったところでもあります。

また、今年新たに「輪の輪工芸会」「芳香社」「市川芸協会」の3団体が加盟いただき12団体となったことも大変うれしいことでした。

さらには、これまでの内輪での新年会の開催の在り方を見直し、「天空の文化祭」のプレイベントとして、江戸川の流れて眺望できる山崎製パン株式会社が竣工した「山崎製パン総合クリエーションセンター」において、「ニューイヤークンサート」を開催した後に「新春祝賀会」を開催したいと思っております。

これまで、「文化の広場」や会議室など本八幡駅から至近距離にある文化施設として親しまれてきた「八幡談話室」が閉鎖されることは残念なことではありますが、来年の3月には、待望の「八幡市民会館」がオープンすることは芸文協にとっては期待が膨らむものであります。



## 市川市手工芸連盟の活動

### 市川市手工芸連盟

当連盟は今年で26回目を迎える手工芸公募展を柱として、談話室での展示会や、中山清華園で行うミニ展示会などを毎年行っております。中山清華園の展示会のご近所の方々と交流が多く、地域密着型でとても好評なイベントです。

また、手づくり教室を通して、学生さん達との交流があります。とても楽しい一時を過ごしております。

その他、チャリティー活動の売上を全額、社会福祉協議会へ寄附させて頂いており、微力ながら手工芸を通して福祉活動へも協力しています。

新たな活動として、今年の12月に八幡4丁目にある、「フリースペース圓」にて「市川市手工芸連盟展示即売会」を開催します。会員一人ひとりが心を込めて製作した作品です。ぜひ皆さまのご来場をお待ちしております。



この様な活動を通して、今後も私共会員は、手工芸の持つ魅力を地域の皆さまと広く共有すべく、努力して参りたいと思っております。

## 市響65周年を迎えて

### 市川交響楽団協会

私たち市川交響楽団協会はアマチュア音楽の先駆者として活躍された、故村上正治先生が昭和26年に創設し、今年で65周年を迎えました。当協会は市川混声合唱団、市川交響楽団、市川交響吹奏楽団、市響ジュニアオーケストラ、行徳混声合唱団の5つの演奏団体と市響ジュニア育成会を加えた6つの団体が構成しています。毎年それぞれの団体の演奏会を6回ほど開催しています。この協会創立65周年を期して、地域音楽文化振興活動を一層発展させるとともに、従来の暖かいご支援にお応えしたいと考え、来年29年10月に協会の総力を挙げて「合唱の集い」を開催する事といたしました。世界三大レクイエムの一つであるヴェルディの「レクイエム」を市川文化会館で演奏する予定で、すでに練習に着手しております。

この演奏会には地域の合唱を愛する方々にもお声を掛けて、合唱団員として参加を呼びかけたいと考えています。仲間内の演奏活動だけでなく、市川で文化芸術活動を展開している他の文化団体とのコラボレーションも積極的にを行い、ひいては地域の文化芸術活動が増々盛んになっていく事を願ってやみません。



## 市川市花道協会

### 理事長 倉持理純

市川市花道協会は日本の伝統文化であるいけばなを研究(又は探求)する会員が集まって昭和26年に結成されました。

花道協会では日頃からいけばなを見ることよって心の豊かさそして安らぎを得られるお手伝いができます事を願っております。また生ける方々の思いも様々ですが、いけばなの世界を伝承できます事をうれしく思います。また「子供コーナー」も大変好評をいただいております。72回になるいけばな展は平成29年3月3日(金)から6日(月)まで【市川市文化会館】の地下大会議室・展示室で開催されます。

また、会員相互の親睦を図る目的で新年懇親会を平成29年2月5日に本八幡駅近くのイタリア料理店でおこなわれました。4月15日にはバス研修で濃溝の滝・





ホキ美術館を予定しております。  
なお定期総会は5月14日を予定して  
おります。  
会員の募集は随時おこなっております。

連絡先 〒272-0035  
住所 市川市新田 3-5-6  
市川市花道協会  
電話 047-370-3608

## ホールに響く合唱の歌声

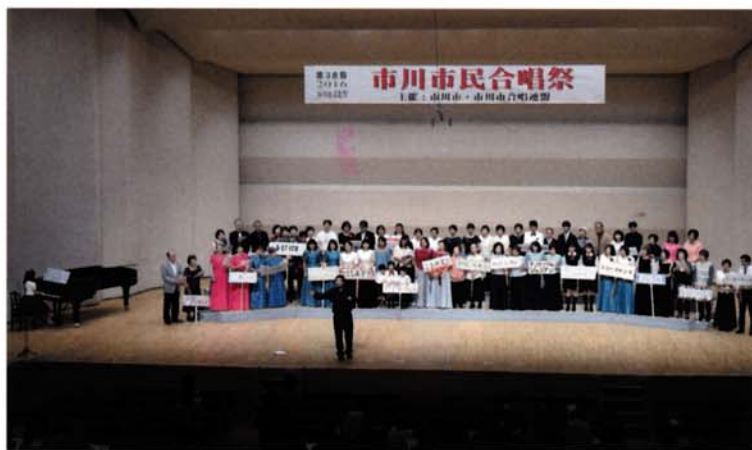
### 市川市合唱連盟

秋晴れにも恵まれた11月の12・13日、第38回市川市民合唱祭を開催いたしました。美しいハーモニーが大ホールに響きわたり、出演者もお客様も至福の時間となりました。交流事業を通じて葛飾区との合唱交流も毎回良い刺激となっております。

市民合唱祭は、昭和55年、18団体によりスタート致しました。以来毎年回を重ね第38回の今年は、市内小中学校合唱部の3団体・葛飾区よりの2団体の特別出演を含めた53団体の出演となり、まさしく文化会館大ホールでの合唱の祭典となりました。出演の団体は平素の練習成果を演奏し互いに聞き合う合唱祭として有意義な一日を過ごします。

市川市は千葉県下でも合唱団の数も多く合唱活動の盛んな市です。しかし最近では、公民館など練習会場の確保、団運営など団員の高齢化と共に様々な問題点も見えてきました。皆で知恵を出し合い今後合唱活動がますます盛んになり合唱の輪が地域に広がり、合唱を通じて市

川市芸文協の皆さまと共に活発な芸文活動の展開を目指したいと願っています。



## 市川民話の会

### 市川民話の会

私達は市川にお住いの古老から市川の昔の話を聞きとり本にまとめたいと思いました。40有余年になります。「市川のむかし話」「続市川のむかし話」「改訂市川むかし話」「伝承民話」等出版し、直接話しを語って欲しいという要望も増え、小学校、公民館、高齢者クラブ

と要請にに応じて、市川の昔、また、その地域にまつわる話を語る活動を続けています。

市内での八幡街回遊展、行徳街回遊展、地区毎の街回遊展にも参加し、昔ばなしを伝承するよう努力しています。まずは、多くの方に伝承し、知っていただきたい。自分の住む街に古来からの伝説や歴史があり、その続きに自分がいるということでの居場所の確認など、市川の地を終わの栖と決めた方にも心の寄りどころになればと思っております。「昔、真間に、そう、今の商大の下のように映画の撮影所があったんだよ」「乳牛のいる30頭ぐらいの牧場はあちこちにあつてさ」日本武尊や平将門伝説、歴史上の人物、頼朝や土方歳三も市川を通っていた、など、手児奈、百合姫、常磐井の官のお姫様の伝承もあります。枚挙にいとまがないほどたくさんのお話があります。2月の天空の文化祭でも語らせていただきます。



## 「近年の合同作品」について

市川市洋舞踊協会は、市川市芸文文化団体協議会に昭和57年（1982年）

市長 荒木洋子



に加盟、今年で35年の月日が経ちました。そして今日まで他団体と交流を図り、心に残る作品を数多く創り出してきました。

現在、洋舞踊協会に加盟している団体は、アミューバレアート、クラシックバレエ、シュエット、ケアライラニ・フラグループ、すみれバレエクラシック、



三沢モダンバレエ・ジャズダンススタジオ、玲子バレエスクールの6団体です。平成25年に市川交響楽団との共演で「パリの喜び」、平成26年に市川民話の会の協力で「つるの恩返し」、平成27年に「シンドレラ」ハイライト版、平成28年には「ガーシェインの世界」と毎年意欲的に協会の合同作品を上演してきました。平成29年3月にはヴィヴァルディ曲を中心にした「四季」を上演いたします。今後も芸文協の他の団体との交流を行い、多くの方に楽しんでいただける作品を創りたいと思っております。

## 市川市に根付く俳句

市川市俳句協会  
能村 研三

市川市内では数多くの俳句結社の俳句会が催されており、俳句協会が把握しているだけで23結社。句会数は30を数えます。俳句会の場所は市川駅周辺、本八幡駅周辺を中心に、北は大野町から南は南行徳まで広範囲に及びます。

市川市芸術祭の一環として開催する「市川市市民俳句大会」は平成28年度で、第68回となりました。市民俳句大会では、これらの結社からの30名の選者の「選」と、一般参加者による「互選」とで成績が競われ今回は以下の成績。

市長賞 樋口英子(宮久保)  
初蝉のまだ濡れてゐる声なりし  
市川市議会議長賞 酒井裕子(原木)  
渾身の高さでありぬ蝉の殻



教育長賞 柴田歌子(菅野)  
ぼあちやんと呼ばれて外すサンクラス  
能村研三(俳句協会会長) 特選(一部)  
人は何故都を目差す雲の峰 千田百里  
今井聖(街主宰)(記念講演講師) 特選  
間欠泉収穫祭に和して起つ 甕秀磨  
成績上位20名、および特別選者による特選30句が表彰されました。

市川市俳句協会では、市内の小学校に「俳句出前教室」に出向き、子供たちと楽しく俳句を作り、その後一緒に給食を食べるといふ活動を継続しています。



## 市川オペラ振興会

理事長 木村珠美

2016年の市川オペラ振興会は、6月4日と5日に、チェコの大作曲家であるドヴォルジャークのオペラ「ルサルカ」を公演いたしました。この公演は、日本人による初の言語(チェコ語)全曲上演となり、各方面より高い評価を受けることが出来ました。また、今年11月には、日本経済新聞に首都圏(1都3県)の主な市民団体4団体の1つに、千葉県では、代表に選ばれました。





# 水墨・墨彩画で市川に平和を！

主宰 池田 蘭径  
芳香社

38年前の昭和54年、この会は会員数30名程で今の市川市教育会館で産声をあげました。

「自然界に彩なきものなし。墨は彩あつて美しく、彩は墨あつて更に美し。」の理念のもと会員一同は日々研鑽に努め、その成果を10号〜120号の作品に仕上げ毎年国立新美術館で開催される日本自由画壇展に出品しています。

その後、広く市川市民の皆さんに見て頂きたく市川市文化会館で展示会を開催しております。期間中はワークショップコーナーを設け子供達をはじめ多くの市民の方々が来場し、筆をもって体験されています。

この度、能村研三会長にご推薦を頂き市川に水墨・墨彩画を広めたいという目標達成のため喜んで芸文協議会に入会させて頂きました。今後は、芸文協の皆さんと一緒にこの文化香り高い市川で更なる文化芸術の発展振興のため協力して行きたいと思えます。

文化芸術で市川に平和を！



## 輪の輪工芸会の発足と歩み

輪の輪工芸会  
代表 渡辺成良

### ☆ 会の発足

1986年10月、『輪の輪工芸会』は64名の会員で発足しました。輪の輪は「作る側と観る側の輪」の意味です。

### ☆ 会の歩み

1987年10月、市川市文化会館地下の展示室にて、第1回『輪の輪工芸展』を開催しました。以降毎年、秋の展覧

会を中心に年数回の広報発行、ユニバーサルチャリティー輪の輪会員小作品展、会員のグループ展、様々な研究・研修会などを開催してきました。

### ☆ 新たな歩み

今年30回展を迎えました。なお、昨年の29回展より展覧会の名称を『公募輪の輪展』とし、これまでの工芸・造形に絵画を新たに加えて、壁面の充実を図っています。

一般公募部門と会員部門により多彩な展示が可能となり、『作る人の心と使う人の心の輪』鑑賞の輪をさらに広げてまいります。

また、今年度は芸文協に加入しました。皆さんと協力して市川の芸術文化の振興に努めてまいります。



平成28年度市川市文化祭  
市川市芸術文化団体協議会

第23回芸術文化集会

# 天空の文化祭



市川市芸術文化団体協議会加盟団体による展示と公演

常設展 市川市花道協会 市川市手工芸連盟 市川市写真連盟 市川市俳句協会 芳香社 輪の輪工芸会  
公演 市川交響楽団協会 市川オペラ楽団 市川市合唱連盟 市川市洋舞踊協会 市川民謡の会 市川市芸術協会  
(開催内容は裏面をご参照ください)

入場無料

平成28年2月16日(木)~2月20日(月)

会場 ザタワーズ ウエスト45階 アイ・リンクタウン展望施設

JR 市川駅南口を出て右(東東方面)へ、ザタワーズ ウエスト3階から直達エレベーターでお上がりください。

主催：市川市芸術文化団体協議会 共催：市川市 後援：(公財)市川市文化振興財団  
お問い合わせ：芸術文化集会実行委員会(通称) Tel.047-334-7832 Eメール ichikyoplum.ocn.ne.jp 市川市文化振興課 Tel.047-300-8020



平成 28 年度市川市文化祭 市川市芸術文化団体協議会  
第 23 回芸術文化集会 天空の文化祭・プレ

## 新春・ニューイヤーコンサート

～飯島藤十郎記念ホール竣工記念～

**会場** ヤマザキクリエーションセンター 飯島藤十郎記念ホール

**日時** 平成 29 年 1 月 21 日 (土) 2 時開演 (1 時 30 分開場) (入場無料：入場整理番号制)

### 第一部 市川市新人演奏家コンクール最優秀賞受賞者による演奏

☆ピアノ独奏：井後優弥 ☆テノール独唱：安保克則

### 第二部 市川市芸術文化団体協議会会員による演奏

#### ☆市川オペラ振興会

ソプラノ独唱：木村珠美

ピアノ伴奏：井後優弥

#### ☆第 69 回全日本合唱コンクール全国大会金賞受賞校演奏

市川市立第 5 中学校合唱部

国府台女子学院合唱部

#### ☆市川市洋舞踊協会

三沢モダンバレエジャズダンススタジオ

アミュバレエアート

#### ☆市川交響楽団弦楽アンサンブル

バッハ作曲「ブランデンブルク協奏曲第 3 番」

主催：市川市芸術文化団体協議会

共催：市川市、市川市文化振興財団 (申請中)

協力：ヤマザキ製パン株式会社、全日警(株)、

市川市観光交流推進課 (申請中)

### 市川市芸術文化団体協議会 新春祝賀会

日時：平成 29 年 1 月 21 日 (土)

4 時 30 分開会

開場：ヤマザキクリエーションセンター 7 階

会費：6,000 円



平成 28 年 4 月に、市川市芸術協会が 7 団体で設立されました。異なる芸術団体が、共に研鑽し、協力・発展していこうと集まりました。メンバーを紹介させて頂き、設立から 33 年の歴史をもつ「市川カラオケ連合会」。八幡のお囃子を復活に向けて進む「八幡囃子保存会」。子どもから大人まで一緒に頑張っている「八幡下町ゆうづる太鼓」。伝統の坂東流を受け継ぎながら舞う「華実会」。地域の踊り愛好者と発展する「八幡下町踊り同好会」。新しい舞踊を研究発展を目指す「千翠会」。光江流の市川の拠点となる「光江流かつぼれ市川道場」。「カラオケ」「舞踊」「和太鼓」「お囃子」

## 市川市芸術協会ができました

市川市芸術協会

### 市川市芸術文化団体協議会 加盟団体

市川市花道協会

市川交響楽団協会

市川民話の会

市川市合唱連盟

市川市手工芸連盟

市川市洋舞踊協会

市川オペラ振興会

市川市写真連盟

市川市俳句協会

芳香社

輪の輪工芸会

市川市芸術協会

編集・発行

市川市芸術文化団体協議会

事務局

〒 272-0826 市川市真間 2-1-6-101 大川高代方

TEL 047-322-2332

HP <http://www.geibun.org>



「かつぼれ」と様々なジャンルが集まりました。9 月 22 日に設立記念の芸術祭を文化会館で行いました。当日は大雨になりましたが、多くの来場者を迎えることができました。これからも、お互いの芸の良さを認め合い、共に進んでいけるように頑張っています。